

熊本県立豊野少年自然の家 指定管理者 令和4年度(2022年度)  
管理運営評価票

所管部課:教育庁市町村教育局社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりJAPANネットワーク・三勢共同体
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
施設概要	<p>① 所在：宇城市豊野町山崎1775</p> <p>② 施設：宿泊棟、プレイホール、キャンプ場等</p> <p>③ 目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	311,073,000円（4施設（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）を一括で委託、利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	17,426人	16,706人	前年度実績12,001人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>令和4年12月まで新型コロナウイルスの影響で受入数を定員の概ね半数を目安としていたため、研修者延べ数はコロナ前（平成31年度）と比べると減少しているが、令和3年度実績と比べると増加し、結果として目標値には達していないものの、利用者の呼び戻しに向けて、工夫しながら受け入れを行ったと認められる。</p> <p>県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しているため、期間中の事故発生が0であった点について評価できる。</p>			

## 2 管理業務実施状況

### ① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	ボイラー運転監視	通年	
保守点検	自家用電気工作物点検	月1回	専門業者に委託
	昇降機設備保守点検	月1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年6回	
	害虫駆除	年1回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査（残留塩素）	週1回	
	水質検査	年2回	専門業者に委託
	浄化槽保守点検	月4回	同上
	自家発電設備点検	年2回	同上
	アスレチック設備点検	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
	浄化槽法定点検	年1回	同上
建築設備定期点検	年1回		
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。</p>			

## ② 運営事業実績

### 〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
キャンプで子育て! Nature Family Land①・②	4/24 8/21	46人	キャンプ活動を通して家族の親睦を深めるとともに、キャンプスキルと楽しさを学ぶ。また、自然に触れることで子どもたちの感受性や自主性を育む。
森のようちえんもくもく①~⑧	5/7~ 3/11	236人	田畑で土に触れたり、季節の食材を食したりといった様々な自然体験活動や地域の方々との交流を通して、保護者と一緒に乳幼児期の子ども達の豊かな感覚や感性を引き出し、育てる。
集団宿泊教室担当者セミナー①~③	5/9 7/25 8/22	70人	施設を利用予定の集団宿泊教室担当者に、研修の意義や効果的な利用方法について習得してもらう。また、体験活動における指導者の安全管理意識及び指導技術の向上を図り、充実した集団宿泊教室を実施してもらえるようにする。
とよキッズSDGsキャンプ	5/14~15	24人	SDGsをテーマに様々な体験活動を通して、持続可能な社会の実現に向けた参加者自身の意識の向上を図る。
とよキャン	6/4~5	30人	キャンプ活動を通して自然に触れ、自然の中で生活することによって参加者の感受性を育むとともに、自然の中でのびのびと活動することができる機会と場所を提供する。
キャンプ事業サポート①・②	6/19 11/5~6	14人	アウトドア活動に興味がある方を対象に、職員の専門性を活かし、事前の計画から当日の運営までのアドバイスやサポートを行う。また本事業を通して、自然の家の利用方法を周知し、今後の自然の家の利用促進を図るとともに、自然体験への興味・関心を高める。
とよドン家パーク (春、夏、秋、冬各1回)	7/25~29 10/30 1/22、29 3/25~28	563人	自然の家に気軽に足を運んでもらうことで、身近な施設と感じてもらうとともに、自然の中でのびのびと活動することができる場所と機会を提供する。
親子 de ムシカツ	7/29~30	29人	様々な体験活動を通して自然に触れ、生き物に触れ、生命の大切さを学ぶとともに、家族の親睦を深める。
共催事業「キッズチャレンジプロジェクト」①~③	10/2 12/18 2/12	47人	自然体験活動を通して、子ども達の豊かな感覚や感性を育むとともに、参加者親子のコミュニケーションを図り、家族の親睦を深める。
とよキッズ防災キャンプ	11/19~ 20	20人	様々な防災体験を通して、災害に対する備えの意識の向上を図るとともに仲間と協力する大切さを学ぶ。
通学合宿	2/8~11	26人	共同生活体験を通して、当然と捉えて

			いる日常への感謝の気持ちを醸成するとともに、自立心を育む。また、家庭や地域に目を向け、積極的に活動ができる人材を育成する。
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>令和3年度は新型コロナウイルスの影響により5事業が中止となったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業は0であり、実施数は令和3年度と比較して10事業増加した。コロナ禍でも実施できるように事業内容の見直しを行い、実施した事業はほぼ定員に達したことは評価できる。</p> <p>地域の自然等の特色を活かしたプログラムを実施した他、より多くの人に自然体験活動の機会を提供したことは評価できる。</p>			

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	355日	359日	98.9%
	宿泊可能日数	354日	358日	98.9%
	利用日数	244日	194日	125.8%
	利用率	68.7%	54.0%	127.3%
	利用者実数	7,054人	5,925人	119.1%
	利用者延べ数	13,707人	9,988人	137.2%
キャンプ場	開館日数	355日	359日	98.9%
	宿泊可能日数	354日	358日	98.9%
	利用日数	10日	4日	250.0%
	利用率	2.8%	1.1%	256.1%
	利用者実数	72人	40人	180.0%
	利用者延べ数	144人	80人	180.0%
出前講座等	利用者実数	1,488人	844人	176.3%

<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>令和4年12月から受入れの制限を解除したこともあり、前年度に比べて利用者が増加しており、コロナ禍以前の利用者数に戻りつつある。利用者が増加した中で、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりと行い受け入れを行ったことは評価できる。</p> <p>出前講座については、PTAや放課後子ども教室等からの依頼が増えたことにより、令和3年度と比べて大幅な利用増となったことは評価できる。</p>				
---	--	--	--	--

#### 4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額（円）	
利用料金収入	本館	一般 1,046 人、高校生以下 5,226 人、 就学前の者 113 人	2,080,500
	キャンプ場	一般 20 人、高校生以下 6 人、就学前の者 0 人	7,000
	宿泊を伴わない 利用	一般 476 人、高校生以下 231 人、就学前の者 152 人	59,150
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	61,364,000	
企画事業等収入	27 事業	419,950	
その他活動収入	出前講座 43 団体	153,400	
プログラム活動料金		282,980	
食事代		11,312,410	
シーツ等クリーニング代		842,350	
雑収入		82,940	
合計		76,604,680	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	
② 支出			
項目	内訳	金額（円）	
人件費		41,233,378	
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	7,673,659	
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	24,123,007	
企画事業費		196,014	
合計		73,226,058	
【点検・調査結果及び評価】			
利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。			

## 5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	令和4年4月1日～令和5年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	156 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよく ない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	121	77.6	29	18.6	5	3.2	0	0	0	0	1	0.6
	活動内容	81	51.9	26	16.7	6	3.8	0	0	0	0	43	27.6
	職員の受け入れ対応	143	91.7	13	8.3	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員の指導・助言	136	87.2	17	10.9	1	0.6	0	0	0	0	2	1.3
	食堂スタッフの対応	100	76.9	28	21.5	2	1.5	0	0	0	0	26	※1
	食事の質	84	64.6	34	26.2	11	8.5	1	0.8	0	0	24	※2
	食事の量	87	66.4	31	23.7	10	7.6	2	1.5	1	0.8	24	※3
	屋内の施設・環境	104	66.7	37	23.7	10	6.4	2	1.3	0	0	3	1.9
	屋外の施設・環境	97	62.2	34	21.8	15	9.6	2	1.3	0	0	8	5.1
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		116	74.4			38	24.4			0	0	2	1.3
利用者からの意見等													
(点検・調査結果及び評価)		ほとんどの質問項目において「非常によい」、「よい」と回答した合計が全体の9割を超えており、利用者の満足度は高いと評価できる。特に、質問項目の「職員の受け入れ対応」については10割を達成しており、利用者の満足度向上のため、全職員が積極的に取り組みを行っている点については評価できる。											

※1～3 食事をとっていない団体は無回答のため、比率計算の分母に算入せず。

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
コロナ禍で減少した利用回復に向けて広報活動を行うこと。	近隣のスポーツ施設や総合型地域スポーツクラブを対象に計画的な広報活動を行い、新たな利用者の確保につながった。新たな利用者の確保に向けた広報活動を行った。また、施設の Facebook や Instagram を活用して随時情報発信を行った。
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> SNS 等を活用した積極的な広報活動により、施設の認知度向上や利用者の増加につながっている点について評価できる。	

## 8 その他

特記事項なし
--------